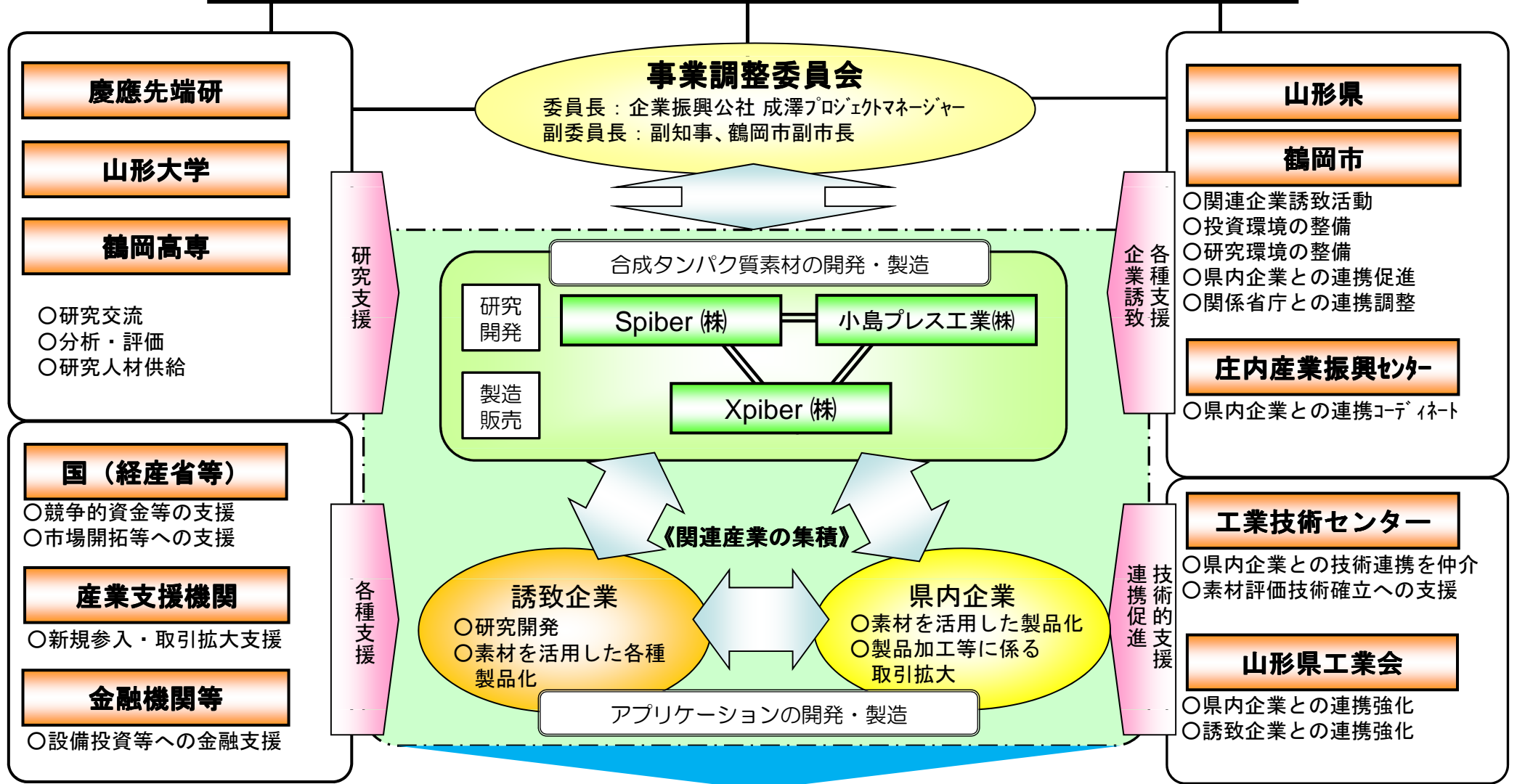


合成クモ糸繊維素材の産業化に向けた推進体制

山形県合成クモ糸繊維関連産業集積会議

会長：山形県知事 副会長：鶴岡市長



世界の市場へ

山形県における合成クモ系繊維の産業化に向けた取組みについて

1 平成26年度取組み

- (1) 山形県合成クモ系繊維関連産業集積会議の設立（6月18日）
- (2) 合成クモ系繊維の特性評価支援
工業技術センターに以下の評価・分析装置を導入
 - ① 偏光顕微鏡（繊維分子の方向や並び方の観察）
 - ② 繊維引張試験機（強さや伸び率などの測定）
 - ③ デジタルマイクロスコープ（太さや断面形状などの観察）
- (3) 設備投資に対する支援（企業立地補助金）
- (4) 国に合成クモ系繊維の産業化促進に向けた支援充実を提案

2 平成27年度取組み

- (1) 山形県合成クモ系繊維関連産業集積会議の開催
事業調整委員会（5月26日）、合成クモ系繊維関連産業集積会議（11月26日）
- (2) 地域バイオマス資源研究会の設立
合成クモ系繊維の生産過程における地域バイオマス資源の活用可能性について検討
- (3) 設備投資に対する支援（企業立地補助金）
- (4) 国に合成クモ系繊維の産業化促進に向けた支援充実を提案